

祝園ミサイル弾薬庫問題で 国と町に反論

防衛省は昨年わずか2、3か月の「調査」で、「祝園分屯地は火薬庫建設に適地」と結論しました。防衛省は議会からの質問に対して返答書を送ってきました。そこには重大な問題があり、質問しました。

①「分屯地内での活断層は文献等を通じて確認」とありますが、これまで地学者は、基地内は十分調査できていないので、文献だけでなく、国自身が実際に調査するように求めました。国は、「必要な確認が実施される」と言いますが、『実際調査する』と、明言しません。また、「火薬庫の耐震性を確保する」と言いますが、火薬庫の規模や設置個所は秘密です。

②「海上自衛隊と共同運用」について、舞鶴港のイージス艦積載のトマホークを保管するのか、と問いましたが、「保管される弾薬の種類は言えない」



弾薬庫入り口の近くにも住宅が…

と隠します。しかし、高速道に近い弾薬庫を選んだことに狙いが見えます。

さらに、「米軍との共同運用は、現時点ではない」とのことですが、『将来的にはありうる』ことを示唆し、終戦後15年間の米軍管理の再現、沖縄のような米軍支配が心配されます。

③「ミサイルの搬出入は安全確保に努める」と言いますが、自治体にルートや日時を知らせることは拒否します。

④さらに、「住民説明会を」という要望も拒否しています。これらは当基地の危険性を改めて示しています。

平和を守るため皆さんと共にさらに頑張ります。

久行 坪井
孝枝 松田

一般質問

自主防災会の限界と今後

自治会を基本に組織されている自主防災会ですが、その対象者は地域内の全住民です。町から助成金が出ていますが、要綱によれば、町政協力員の設置が、助成要件の一つです。

この間、地域コミュニティの希薄化が進み自治会への加入率も減少傾向です。現状と課題今後について問いました。

町は「課題として①担い手不足②活動内容がわかりづらいなど認識し。手続きのIT化や広報の改善などを図っている。今後、小学校区を単位とした広域連携により役員の負担軽減につなげたい」と、答えました。

ゴミステーションの管理なども同様です。

少子高齢化の進捗は自明です。今こそ、公助の在り方を見直すべきではないでしょうか。

高齢者等指定避難所の運営は

高齢者等指定避難所がつくられ、ました。防災備品等の準備は不要のことですが。一定の運営マニュアルを示すように求めました。「今後、策定していく」とのことです。

健康保険証は残して

政府は本年12月2日で保険証を廃止すると決めました。マイナンバーカード取得は任意であるのに、保険証廃止は、マイナンバーカードの強制につながるのと立場から、①現状と今後の取り組み②医療現場の現状③メリット・デメリットの認識について問いました。

町は「①全ての被保険者に令和7年12月1日期限の保険証交付をした。6割越がマイナ保険証を利用。資格確認証の発行で国民皆保険制度は守れる②すべての医療機関、薬局で対応できる。トラブルはない。③ネットワーク障害などが予想されるが資格情報のお知らせとマイナ保険証の提示で受診できる」と答えました。

「子ども誰でも通園」 制度の導入は

子育て支援法改定により、「子ども誰でも通園制度」が施行されました。本年から一部自治体で試行的導入が進められ、2026年からは、全自治体での実施が予定されています。①試行的実施を考えているか②民間保育所の意向は③国のワンストップの導入で、自治体独自の保育行政はどうなるかを問いました。

町は「①現在、保育所はほぼ定数に空きがなく現状では試行的導入は困難。導入に当たっては、人員確保や施設整備など課題整理が必要②今後の動向に注目する③制度が不透明で、今後の国の動きを注視する」と、答えました。

保育現場や子どもたちの立場から、試行実施の結果を十分に検証し拙速な導入しないことを求めました。

万博会場は安全か 校外学習には不適切

メタンガスの発生と爆発事故、PCBNなど有害物質発生、落雷の危険性、ヒアリ被害、避難計画未策定、下見不可見たいパビリオンが見れないなど、多くの不安が懸念されています。校外学習の場として不適切の視点から次のことを問いました。①校外学習として適切と思うか②現状を学校現場に情報、資料として提供するか③万博参加は学校判断とするか。

町は「①8月に説明会があり、安全対策は進められていると認識②開催後の下見は可能で、予約制なので10月頃に判明、情報収集に努める③学校の判断に任せる」と答えました。

教育長から「教育委員会として、万博不参加の指示をだせということか」と反問があり、不参加を決めた交野市を紹介し、正しい情報を現場に伝えることが重要だと指摘しました。

晴増 竹川
彦雅 佐々木

9月会議

デマンド交通に 利用者の声を

10月からスタートしたデマンド交通は、利用者の声が反映されていません。

例えば、くるりんバスとの乗継ぎ割引はありません。

免許返上者にくるりんバス回数券を渡しているのに使えません。障害者移動支援のタクシー券も使えず、コロナ禍で開始したICカードも使えないなど料金面で矛盾です。

光台・東畑エリアから精華病院に行けません。理由を聞くと「祝園駅西口から歩ける」とのこと。祝園・狛田エリアからガーデンシティに行けません。高齢者・病人の実情を理解していません。

しっかり利用者の声を反映させるべきです。



祝園駅は改善される？

JR祝園駅のエレベータ設置協議が、再開されたとのことです。早期実現を求めます。

PFAS対策なし 以前から求めている

PFASの環境調査・汚染原因調査・住民健康調査・除去対策ともに、「国の動向を見守る」と極めて無責任です。

全国的には、水・土壌・大気や住民の血液などの調査に乗り出していますが、調査もしようとしません。このままでは、健康被害に発展します。

トイレカーの保有を

阪神淡路から能登半島地震まで課題である被災地のトイレ対策として、各自治体がトイレカーを持ち、平時は地元で、災害時は派遣することを提案しましたが、「計画はない」と他人事でした。